

海外安全対策情報

【2021年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様には、窃盗や恐喝事件、地下鉄等での痴漢行為や麻薬等の違法
薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の電子決済機能を悪
用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。さらに、飲酒や交通マナーに伴う揉
め事が多発傾向にあり、特に飲酒に起因した事案では、傷害事件や警察官に対する公
務執行妨害等に発展したケースも報道されています。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 凶悪事件

ア 女性を狙った強盗未遂事件（青島市）

11月11日午後6時半頃、某駐車場において、女性が帰宅しようと車両に乗車
したところ、後部座席から侵入した男が女性の髪の毛を掴み、郊外まで運転しろ
と脅迫する事件が発生し、女性は素直に従いつつ途中で車両をバスに衝突させた
ことから男は降車して逃走した。

青島市副市長、市公安局の隋汝文局長が指示を出し、市南分局の方建輝局長が

海外安全対策情報

指揮を執って迅速な解決を図った。男は、何度も着替えるなどして逃走したが、警察は監視カメラの顔認証等 IT 技術を駆使して男の個人情報や行方を割り出し、翌午前 3 時半頃、中山路の某ホテルにおいて身柄を確保した。

男の供述によれば、10 月 19 日に青島へ来た後、金を使い果たして強盗をしようとしたが、街中の警察官やパトカーを見て一度は犯行を断念し、単独の女性を尾行して車両に乗り込み、人目につかない場所まで運転させて金を奪う計画を思いついたという。

(2) 詐欺事件

ア 靈感商法詐欺事件（臨沂市）

臨沂市河東区人民法院は、靈感商法を用い、2018 年 3 月から本年 3 月までに複数の被害者から合計 300 万元を騙し取ったとして、張女に有期懲役 11 年の判決、同夫に厳罰を下した。

張女は、天眼を開いたと称して自らを“張大師”と名乗り、現代医学でも不可能な疾病治療や、商売繁盛、恋愛運上昇、厄除けなどが可能であると宣伝し、徐々に有名になったという。被害者には、初期の更年期障害であるにも関わらず、邪悪な物が憑いていると言われ合計 2 万元近く支払った女性や、生まれたばかりの 3 番目の子供が自分の運命に存在しないとされ、2.8 万元を支払った男性もいた。

張女は建築関係の商売人だった頃、友人の間で民間療法が勧められているのを見てすぐに詐欺だと気付いたが、逆にビジネスチャンスを見出したという。それから民間医療の手口を増やし、短時間動画利用、会社設立、弟子を取るなどのあらゆる方法で自分を万能の神に仕立て上げ、夫も犯行に協力していた。

イ ネットショッピング会社を騙った電信詐欺事件（青島市）

即墨区警察は、本年 9 月から 10 月までの間に、女性から約 19 万元を詐取した電信詐欺グループ 9 名を全員検挙した。同グループは 8 月 28 日、某ネットショッピング会社の財務経理を名乗り、「弊社の誤操作により、銀行口座から毎月 500 元引き落とす設定をしてしまった。解除のために口座の残金を指定口座に移して欲しい。」などと申し向けて女性を騙し、187,900 元を送金させたという。

即墨区公安分局反詐欺センターは、すぐに詐欺電話を察知して女性に連絡を取り続けたが、女性が電話に出たのは送金操作の後であり、すぐに口座を凍結したものの残金は 49,140 元であった。現在、被疑者らは全員刑事拘留されており、送金した全額が女性に返金されている。

ウ 専業主婦がインフルエンサーから 10 万元を詐取（青島市）

城陽区警察は、10 月 31 日、詐欺容疑で城陽区在住の女(38)を刑事拘留した。女は、若くて美人の写真を自らのアカウントに使用し、男性インフルエンサーに数百元ずつのラッキーマネーを送り続けて交流を開始すると、「青島の学生で 24 歳。実家は不動産経営」などと偽って男性の関心を誘った。

半月後に男性から交際を求められると正体を現し、“スマホが壊れた”や、“友人に貸した金が返ってこない”など、あらゆる嘘で男性から金を騙し取り、被害額は合わせて 10 万元に及んだ。警察は、「ネット上の交友は慎重に。特に金銭の

海外安全対策情報

やりとりには注意。騙されたと思ったらすぐに110番。国家反詐欺中心アプリをダウンロードするように。」などと注意を呼びかけている。

エ 人民銀行調停案件（青島市）

青島市在住の男性は10月25日、自己の銀行口座に連続9回9,000元の身に覚えのない使用記録を発見したことから通報し、現在は人民銀行調停センターによる調査を待っている。

男性によれば、2005年に同口座を開設し、社会保険料の引き落としだけに使用しており、ネットバンキング等の機能には連結していないという。しかし銀行側は、7月20日に男性からスマホ支払いの申込を受け、確認コードも送信したと反論している。

口座記録によれば、8月6日に北京のガソリンスタンドで使用されており、銀行側は男性の同意を得て、第三者機関による調停を予約した。

(3) 窃盗事件

ア 電動バイク連続窃盗事件（青島市）

9月24日、萊西市青島路派出所は、電動バイクを盗んだ容疑で48歳の男を検挙し、自宅から盗難車と見られる電動バイク等5台を押収した。男は、9月23日午後3時頃、萊西市内の果物店前に鍵を付けたまま駐車している電動バイク2台を発見し、相次いで持ち去った疑い。男は罪を認め、本年6月と8月にも同様の手口でモーターバイク1台と電動バイク2台を盗み、自宅に隠していたと供述している。

イ 車上狙い事件（青島市）

胶州市公安局は、酒に酔って他人の車両内で寝込んだ後、後部座席に置いてあった財布の中から現金を盗んだとして、同市に住む29歳の男を窃盗罪で刑事拘留した。

10月21日夜、被害者はレストランで飲酒したことから車両を駐車場に置いたまま帰宅し、その翌朝、財布から8,600元が盗まれたことに気付き通報した。警察は、監視カメラの映像から当日午前3時頃、男が酔った様子で無施錠の同車両に乗り込み、午前7時頃に出て行く姿を確認。その後も監視カメラ映像を追跡して25日に男を検挙した。男は罪を認め、被害金は全て被害者に返還されている。

ウ 空き巣事件（青島市）

市北区警察は、住居侵入及び窃盗の罪により、河南人の男30歳と安徽人の男27歳を検挙した。2人には窃盗の前科が多数あり、いわゆる獄友で出所後は江蘇省で働いていたという。

10月25日午後4時頃、自宅から3,000元の現金及び金のネックレス等数万元相当を盗まれたとの訴えを受けて警察が捜査した結果、帽子とマスクを着用し、現場付近を徘徊する不審な男2人と使用車両の監視カメラ映像を発見した。ナンバーから車両を追跡し、翌午前11時、2人が乗車しようとした際に身柄を確保、車内から被害品の一部も見つかっている。

海外安全対策情報

エ 連続車上狙い事件（青島市）

10月30日、平度市の鳳台派出所管内において、車の窓ガラスが割られ車載品が盗まれる事件が3件連続発生し、平度市公安局は11月4日、煙台竜口市において被疑者3人を検挙した。

警察によれば、3人はいずれも竜口人の男で、車内から現金1,000元等の金品を盗み、事件後盗んだクレジットカードで6,000元分を消費していたという。

平度警察は、雷霆14号作戦によりこれまで121人の各種被疑者を検挙し、60人を刑事拘留、逃走犯を13人検挙している。

オ 病院内スマホ盗難事件（青島市）

市北区公安分局は11月21日、病院を狙って20件余りの窃盗を繰り返した男を検挙した。

同局鞍山路派出所は、本年6月頃から多数の病院でスマホが盗まれる被害が相次いでいることから、分析や被害者への聞き込みを実施した結果、被害現場を徘徊したり、周囲を観察して目標を見定め、居眠りや治療の隙について犯行に及び、犯行後は素早く現場を離れる男を発見、同男の自宅に赴き検挙した。男の供述によれば、病院内は人が多く、患者は急いでいて防犯意識が薄くなると考え、6月以降に市南区、市北区、李滄区の病院で20台余りのスマホ（総額6万元）を盗み、転売して生活費に充てていたという。

（4）交通関連

ア ひき逃げ事件解決で日本から感謝の手紙（済南市）

8月10日、歴城交通警察は、自転車によるひき逃げ事件の通報を受け捜査した結果、付近に居住する未成年男性被疑者を割り出した。その後、同男性の保護者と被害者の家族による示談協議が行われ、慰謝料と今後の治療費を負担することで合意した。

被害者は70歳の女性で、路上で立ち止まっている際に後方から自転車に衝突され転倒し、左側鎖骨骨折の怪我を負ったという。警察は、周囲の監視カメラ映像を追って疑いのある区域にローラー作戦を展開し、被疑者を割り出した。

後日、歴城交通警察大隊二中隊事故処理班張文博氏宛に、日本に居住する被害者の娘からチョコレートとともに感謝の手紙が寄せられたという。

イ 青島市内における夜間検問実施結果（青島市）

青島交通警察市南大隊は、9月16日午後9時半頃、胶宁高架下の福州路出口において夜間検問を実施した結果、飲酒運転の男1名を検挙し、罰金1,000元、減点12ポイント、免許停止6か月の処分を行った。

検挙当時、男は飲酒検知に非協力的で、体内アルコール濃度42mg/100mlの結果判明後も病院での血液検査を要求するなど飲酒を否認していたが、交通警察が病院へ同行する途中に一転して罪を認めたという。

（5）その他特異事件

海外安全対策情報

ア 規制刃物輸入企図事件（膠州市）

近日、青島膠東国際空港において、税関職員が規制品の刃物を発見する事件があった。

同税関職員は、“剣道体育用品”名義で申告された郵便物を検査した際、X線画像に異常を感じたことから開封した結果、AK-47ライフル用銃剣及び革製鞘を発見した。本件刃物は、全長33cm、刀身が21cmのステンレス製で、AK-47ライフルに着剣可能であり、規制刃物に該当する。

「規制刃物認定基準」によれば、あいくち、三角刃物、固定装置付き飛び出しナイフ、その他これらに類似する片刃・両刃・三角刃物、切っ先の角度が60度以上で刀身が22cmを超える各種片刃・両刃・多刃の刃物等が規制刃物とされる。また、規制刃物は我が国の輸出入規制品にもなっており、税関は本件刃物を押収し、捜査を進めている。

イ 2020年修士課程全国統一入試におけるカンニング事件（済南市）

済南市公安局が事件化した2020年修士課程全国統一入試におけるカンニング事件では、被疑者7人を検挙し、電子設備一式と資金20万円を押収、受験生7名が0点、3年間の国家試験参加資格停止処分を受けており、現在は公判手続きに入っている。本事案は、消しゴムに偽装した無線機器が使用され、受験生は学校付近のロバ肉店で使用方法を学んだという。

2015年の全人代において、刑法に組織的カンニング罪が増設され、2019年に最高人民検察院が、カンニングが成功したかどうかは本罪の成立に影響しないとの解釈を示している。受験生や試験官に対し、刑法284条の規定を良く理解させ、行政罰や刑事責任以外に就職や未来への影響が多岐であることを自覚させることが必要だ。

4. 治安対策等報道

(1) 青島公安の2021年上半期成績（青島市）

青島市公安局によれば、同局による本年上半期における出動人数は延べ160万人に及び、16.6万人を助けて、4,252件の揉め事を処理した。7.2万か所の危険性がある道路を修繕し、交通事故件数、事故死者数ともに減少した。

殺人事件は全て解決したほか、5,300件余りの刑事事件を解決し、2019年の同時期と比較して検挙率は51.8%上昇した。また、解決した電信ネット詐欺事件は9.7倍、同検挙者数は3.9倍となった。

(2) 山東省生活ゴミ管理条例（山東省）

9月30日、山東省第13回常務委員会において、山東省生活ゴミ管理条例が審議通過し、来年3月1日施行となる。同条例は、法律の処罰規定を補足・細分化し、指定場所に生活ゴミを分類して捨てないと、情状が悪い場合は個人に50~200元の罰金が課される。また、分類した生活ゴミを再び混ぜて運送するような悪質な業者に対し、5万~50万円の罰金が課される。

また、同条例はゴミ主管部門や教育部門の責任を明確にしており、生活ゴミ関連

海外安全対策情報

知識を学校教育等に取り入れるべきとしている。ポイント交換やゴミ袋のプレゼント、ボランティア活動により、ゴミの分類を促し良好な生活習慣の形成を目指す。

山東省都市建設局の徐副局長は、「2025 年末には、各都市が基本的なゴミの分類に関する収集・輸送・処理システムを構築し、市民にゴミの分類習慣が普及するだろう。」と語った。

(3) 青島市公安局ドローン部隊紹介（青島市）

昨年 4 月、青島市公安局特警支隊は、警務航空部隊を設立した。現在は、操縦士 10 名、ドローン 20 台により、あらゆる危険な現場で困難な任務にあたり、益々活躍の場が広がっている。

同部隊第 7 大隊の張偉隊員によれば、ドローンが最も効果を発揮するのは上空偵察で、30 倍ズーム機能により上空 100m からはっきりと地上を観察することが可能。また、38mm 発射砲により催涙弾や窓破壊弾を発射できるほか、新搭載のネット弾により空中から大網を発射して範囲 10m 以内の犯人を確保することが可能だという。

さらに、毎年 4、5 月のケシの花が成熟する季節には、薬物取締班と協力して違法栽培捜査を行っているほか、昨年は膠州警察の捜査に協力し、犯罪グループのアジトから 2km の地点でドローンを飛ばして監視を行い、全員の所在を捜査員に伝えることで一網打尽に成功した。

(4) 合成大麻の取締り（青島市）

嶗山警察は、雷霆 14 号作戦により全国的に薬物取締りが行われる中、新型犯罪研究作戦中心や 12 の派出所等と合同で薬物取締り部隊を編成し、合成大麻を使用・販売していた 26 人の被疑者を検挙、合成大麻電子タバコ 136 本と合成大麻成分 150ml 余りを押収した。

本事件では、薬物前科のある 22 歳の男が定職に就かず、多数の若者とい集しているのに目を付け行動確認した結果、共犯者や薬物の密売現場を割り出し、同人らの供述から青島薬物密売グループの一斉検挙に至った。

(5) 嶗山警察による雷霆 14 号の戦果（青島市）

嶗山公安分局は 11 月 24 日、雷霆戦果通知返還会を開催し、被害に遭った 1,000 万元分の小切手、車両、物品等がその場で被害者に返還された。

同局は、10 月 18 日～11 月 19 日の雷霆 14 号作戦により、各種刑法犯被疑者 61 人を検挙、刑事事件 60 件を解決、ネット手配逃走犯 22 人を検挙するなど顕著な戦果を上げた。また、電信詐欺や性犯罪、窃盗等の犯罪を主な対象に掲げ、総額 3,000 万元に及ぶ詐欺被害や 3 件のネットマフィア案件を解決した。その他、合成大麻事件（上記 1）を糸口にマネーロンダリング被疑者を検挙し、11 万元の資金と BMW 1 台を押収した。

(6) 青島市公安の捜査能力向上（青島市）

1995 年に青島市内の商店で夫婦が殺害された事件について、開発区公安は 26 年ぶりに被疑者を検挙し、12 月 2 日夜に広東省から青島へ移送した。近年、青島市の

公安は科学技術により益々捜査能力を向上させている。2019年は、ネット手配逃走犯4,132人、公安部指定逃走犯4人、省懸賞金付き逃走犯4人、省指定逃走犯15人、殺人事件逃走犯19人を検挙した。

本年秋冬季の集中取締りでは、殺人事件11件、同被疑者12人を検挙し、検挙数は全省トップレベルである。本年は5回の雷霆作戦を展開しており、事件発生率は2019年比21.5%の減少、殺人事件は最近5年間で最も少ない。

(7) 済南市文明養犬管理条例（済南市）

済南市政府は12月14日、記者会見を開き「文明養犬管理条例」について解説した。リード無しで散歩等、犬の飼育に関する違反行為の取締りを簡便化し、現場で即罰金を納めさせるなど効率を高め、違法行為を厳しく対処することで文明都市の創建を促すという。

同条例は、本年9月1日に施行され、犬の飼育に関する規範や法的責任を強化し、法執行上の現実的な運用を求めた。例えば、リード無しで外出するなどの違法行為に対して、以前の規定では警告処罰のみであったが、同条例では50～200元の罰金を科す。また、初期登録や年度登録が未実施の場合、法人で5,000～20,000元、個人で1,000～5,000元の罰金となる。

さらに、飼育登録手続きの利便性を高めるため、ネット予約サイトや済南市公安局“e警通”アプリを開発し、動物病院の窓口も増設した。

(8) 青島市公安局による本年の成果（青島市）

本年、青島市内の全公安局は、5度の雷霆作戦で9,700件の刑事事件を処理し、41件の殺人事件を解決した。検挙したマフィアは760人、凍結資産は1.09億元に上る。

また、ビッグデータによりシステム化された反詐欺サイトを立ち上げ、被害抑止353万回、事件解決9,200件、検挙者2,300人、緊急凍結資産9.1億元の実績を上げ、国家反詐欺アプリのインストール数は全省トップである。

交通管理においては、病院や観光地、学校周辺等83か所において集中取締りを実施し、過積載、速度超過、バイクの逆行、信号無視等の違法行為48.6万件を処理した。また、新設した路上駐車場は、3.7万か所に上る。